

國産穀物産出に關する事情は、明治十八年頃には、（一）に在る様に、此等寄生蟲は、明治十八年頃には、（一）に比ぶると七倍以上もの所得をして居るのであります。此の點に於ても、我々が組合を組織し、小作米の減額を要求するのに充分の理由があるのであります。

組員 謝騰會 臨岡出張所

願ふのである之の交渉も個人々々では力が薄く、反響が微弱だから、組合を作り、皆の力を以て地主に當らうとするのである。我等が地主に小作米を賣けて呉れと言ふのも、實は益々國家を好くする爲めであるにも、不拘稍もすれば、地主共は逆宣傳して、國家を破壊する危険思想なり等と宣傳しますが、右の様な考へは毛頭ないのであります。京都郡にも、已は遊んで居乍ら、此の惡宣傳を爲す奴が居るのであります。其の代表的人物は、行橋町の柏木や、今元村の陣山等であります。私達は、如斯無爲徒食の者を遊食地主農村に於ける寄生蟲と呼ぶものであります。

財團 協調會 臨岡出張所